

カトリック葛西教会 Kasai Catholic Church

年間第 26 主日 26th Sunday in ordinary time

神は、定められた時にキリストを現してください (1 テモテ 6・15)

At the due time Christ will be revealed by God (1 Tm 6:15)

〒134-0083 江戸川区中葛西 1-10-15
1-10-15 Naka-Kasai, Edogawa-ku, Tokyo
Tel. 03-3689-0014 Fax. 03-5696-4449<http://kasaicc.net/>

主日のミサ

土曜日 Sat. 7:00pm (日本語)

日曜日 Sun. 10:00am (日本語) & 4:00pm (English)



今日の行事：トマス金鍔次兵衛会

ロザリオ月(10月)のスケジュール October Month of the Rosary

10月2日 (喜び)	南葛西・市川・行徳	世界の平和の為に	カ 307 番
10月9日 (苦しみ)	中・東葛西・江東	自然災害によって苦しんでいる方達の為に	カ 332 番
10月16日 (栄)	松江・船堀・清新	奉獻生活を送っている方達の為に	典 407 番
10月23日 (光)	北・西葛西・浦安	葛西教会共同体とそのご家族の為に	カ 314 番

*起立して聖歌1番を歌い、その間マリア様に献花しろそくに灯をつける。歌い終わったら着席
*ロザリオの祈りが終わったら起立して聖歌2番を歌います。

女性部 西千葉教会バス巡礼

日時：10月16日(日)10時ミサ後
参加費：2,000円(弁当付き)
参加数：28名(松尾助祭同行)
聖堂入口ポスターに申し込みして下さい。
先着順とさせていただきます。

聖書勉強会

聖書勉強会を原則毎月第4日曜日のミサ後
11:30より小聖堂で行います。10月は23日
(日)です。たくさんの方の参加をお待ちして
います。

(宣教部：シスター植木)

献堂50周年記念事業第5期献金報告(修正)

2016年第5期報告(8月末現在)
申込者数：50名(目標：200名)
献金合計：1,131,000円(目標：3,000,000円)
1期からの合計は11,560,817円です。今後
とも皆様のご協力を宜しくお願い致します。
ご質問などありましたら本橋俊和・佐藤隆一
にお聞きください。

Kasai Church 50th Anniv. Preparation Committee

Contribution for church's 50th Anniversary
totals **11,560,817 yen**. Thank you for your
understanding and continued support and prayer.

ウルスラ修道会でのミサ

これからの予定は10月27日、11月17日(木)
です。おいしいランチと祈りのひと時をご一
緒に。皆様ご参加下さい。

Tagalog na Misa

Tuwing unang Mierkules ng bawat buwan ay
magkakaroon ng Tagalog na Misa (alas 10:30 sa
umaga). October 5, November 2, December 7 ang
unang Mierkules sa mga darating na buwan. May
kumpisal at novena din sa mga ganoong araw.

共同祈願の祈り

神よ、あなたの愛を
注いでください。

その他今後の予定

09月25日(日) 年間第26主日 トマス金鍔次兵衛会昼食会
10月02日(日) 年間第27主日
10月05日(水) **Tagalog Misa (10:30AM)**
10月09日(日) 年間第28主日
10月16日(日) 年間第29主日

今週の掃除は10月1日(土)
北・西葛西グループです。皆様ご参加ください。
This Week's Church Cleaning Duty
October 1st Saturday
Kita・Nishi-Kasai Group

掃除当番の方々へ：トマスホールの椅子は、体の不自由な方が通れるように聖堂との境からタイル**2枚分(約60cm)あけて**並べて下さい。

献堂50周年記念事業準備
葛西教会は2019年に松江教会から数えて50年を迎えます。老朽化した建物の内装・配管・照明・音響などさまざまな課題を踏まえ、心を一つにして準備作業を行いたいと思います。ご協力をお願い致します。



『年間第26主日』C年

今日の福音 ルカによる福音 (16:19-31)

〔そのとき、イエスはファリサイ派の人々に言われた。〕「ある金持ちがいた。いつも紫の衣や柔らかい麻布を着て、毎日ぜいたくに遊び暮らしていた。この金持ちの門前に、ラザロというできものだらけの貧しい人が横たわり、その食卓から落ちる物で腹を満たしたいものだと思っていた。犬もやって来ては、そのできものをなめた。やがて、この貧しい人は死んで、天使たちによって**宴席にいるアブラハムのすぐそば**に連れて行かれた。金持ちも死んで葬られた。そして、金持ちは**陰府**でさいなまれながら目を上げると、宴席でアブラハムとそのすぐそばにいるラザロとが、はるかかなたに見えた。そこで、大声で言った。『父アブラハムよ、わたしを憐れんでください。ラザロをよこして、指先を水に浸し、わたしの舌を冷やさせてください。わたしはこの炎の中でもだえ苦しんでいます。』しかし、アブラハムは言った。『子よ、思い出してみるがよい。お前は生きている間に良いものをもらっていたが、ラザロは反対に悪いものをもらっていた。今は、ここで彼は慰められ、お前はまだえ苦しむのだ。そればかりか、わたしたちとお前たちの間には大きな淵があって、ここからお前たちの方へ渡ろうとしてもできないし、そこからわたしたちの方に越えて来ることもできない。』金持ちは言った。『父よ、ではお願いします。わたしの父親の家にラザロを遣わしてください。わたしには兄弟が五人います。あの者たちまで、こんな苦しい場所に来ることのないように、よく言い聞かせてください。』しかし、アブラハムは言った。『お前の兄弟たちには**モーセと預言者**がいる。彼らに耳を傾けるがよい。』金持ちは言った。『いいえ、父アブラハムよ、もし、死んだ者の中からだれかが兄弟のところに行ってやれば、悔い改めるでしょう。』アブラハムは言った。『もし、モーセと預言者に耳を傾けないのなら、たとえ死者の中から生き返る者があっても、その言うことを聞き入れはしないだろう。』』

聖書新共同訳より引用

A Reading from the Holy Gospel according to Luke (16 : 19—31)

God will make the poor rich

Jesus said to the Pharisees: "There was a rich man who used to dress in purple and fine linen and feast magnificently every day. And at his gate there lay a poor man called Lazarus covered with sores, who longed to fill himself with the scraps that fell from the rich man's table. Dogs even came and licked his sores. Now the poor man died and was carried away by the angels to the bosom of Abraham. The rich man also died and was buried.

"In his torment in Hades he looked up and saw Abraham a long way off with Lazarus in his bosom. So he cried out, 'Father Abraham, pity me and send Lazarus to dip the tip of his finger in water and cool my tongue, for I am in agony in these flames.' 'My son,' Abraham replied 'remember that during your life good things came your way, just as bad things came in the way Lazarus. Now, he is being comforted here while you are in agony. But that is not all: between us and you a great gulf has been fixed, to stop anyone, if he wanted to cross from our side to yours, and to stop any crossing from your side to ours.'

"The rich man replied, Father, I beg you then to send Lazarus to my father's house, since I have five brothers, to give them warning so that they do not come to this place of torment too.' 'They have Moses and the prophets,' said Abraham 'let them listen to them.' 'Ah no, father Abraham,' said the rich man 'but if someone comes to them from the dead, they will repent.' Then Abraham said to him, 'If they will not listen either to Moses or to the prophets, they will not be convinced even if someone should rise from the dead.'"

This is the Gospel of the Lord

いつくしみの特別聖年のための祈り

主イエス・キリスト、

あなたは、わたしたちが天の御父のようにいつくしみ深い者となるよう教え、

あなたを見る者は御父を見る、と仰せになりました。

み顔を示してくださればわたしたちは救われます。あなたの愛に満ちたまなごしによって、

ザアカイとマタイは富への執着から解き放たれ、姦通の女とマグダラのマリアは、

この世のものだけに幸せを求めることから解放されました^{ぬすびと}

ペトロはあなたを裏切った後に涙を流し、悔い改めた盗人には樂園が約束されました。

あなたはサマリアの女に、「もしあなたが神のたまものを知っていたなら」と語られました。

このことばを、わたしたち一人ひとりに向けられたことばとして聞かせてください。

あなたは、目に見えない御父の、目に見えるみ顔です。

何よりもゆるしといつくしみによって、自らの力を示される神のみ顔です。

教会がこの世において、復活し栄光に満ちておられる主のみ顔となりますように。

あなたは、ご自分に仕える者が弱さを身にまとい、無知と過ちの闇の中を歩む人々を、

心から思いやることができるようお望みになりました。

これら仕える者に出会うすべての人が、神から必要とされ、愛され、ゆるされていると感ずることができるよう。あなたの霊を送り、わたしたち一人ひとりに油を注ぎ、聖なるものとしてください。神のいつくしみの聖なる年が、主の恵みに満ちた一年となり、

あなたの教会が新たな熱意をもって、貧しい人により知らせをもたらし、捕らわれ、抑圧されている人に解放を、目の見えない人に視力の回復を告げることができますように。
この祈りを、いつくしみの母であるマリアの取り次ぎによって、
御父と聖霊とともに世々に生き、治めておられるあなたにおささげいたします。

アーメン。

いつくしみの特別聖年をすごすために

免償（注1）をいただく為に例えば次のような清めと償いの行いが勧められています。

- 1) 指定された聖堂を訪問（注2）して所定のお祈りをし
- 2) （教皇による特別聖年の祈り）、信仰宣言を唱える。
- 3) 司祭からゆるしの秘跡を受けまた聖体拝領する。
- 4) 聖書を通して神の慈しみを深く黙想する。
- 5) 神のいつくしみになつた行いを実行する。

注1：「免償」とは教会が定めた条件のもとに償いの効果をもたらす罰を免除することです。

注2：指定聖堂は東京カテドラル聖マリア聖堂、築地教会、神田教会、麹町教会、八王子教会、西千葉教会。（東京教区の歴史を振り返っていただきたいという思いからです）